

社 長	部 長	実施者	被教育者
			

被教育者	
場 所	本社営業所事務所/各定期路線
実 施 者	
営 業 所	本社営業所

	月 日	初 任 運 転 者 教 育			
教 育 内 容	8月1日 (金) 9時00分 ～11時00 分	就業規則・7つの法則・ ①事業用自動車の安全な運行に関する基本的事項 Ⅰ・バスを運転する心構え Ⅱ・バスの運行の安全乗客の安全確保する為に遵守すべきこと ②事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法 Ⅲ・バスの構造上の特性 別紙・東北観光バス日常点検基準・点検の実施方法/別紙・車両に働く力、速度と走行距離			指導者
	13時00分 ～16時00 分	③交通事故を防止するための留意すべき事項 Ⅳ・乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項 Ⅴ・乗客が乗降するときの安全を確保する為に留意すべき事項 Ⅵ・運行路線・経路における道路及び交通の状況			5時間00分
	8月4日(月) 9時00分 ～11時 00分	④危険の予測及び回避 Ⅶ・危険の予測及び回避 Ⅷ・運転者の運転適性に応じた安全運転			指導者
	13時00分 ～16時30分	Ⅸ・交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれからへの対処方法 Ⅹ・健康管理の重要性 Ⅺ・安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法			5時間30分
	8月6日(水) 16時00分～ 16時30分	NASVA初任診断による指導			指導者
	8月18日 16:00～17:00	実技のドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と訂正			30分
容	月 日	安全運転実技(契約路線研修)			
	8月5日(火)	コース名 大衡線 時 間 9:14～11:00	指導員 	(指導内容)車幅確認注意 他社の動向・停車車両に注意	コース名 時 間 1時間32分
	8月6日(水)	コース名 仙台北四線 大衡線 時 間 9:14～16:05	指導員 	(指導内容)他車に注意 歩行者自転車に注意 前車との停止距離の確保	コース名 時 間 5時間19分
	8月7日(木)	コース名 大衡線 循環① 仙台北四線 時 間 9:29～16:16	指導員 	(指導内容)クラッチ操作に注意 交差点右左折注意 狭い道路でのすれ違い注意	コース名 時 間 5時間16分
	8月8日(金)	コース名 循環② 折立錦ヶ丘 線大衡線 時 間 8:56～14:36	指導員 	(指導内容)交差点内歩行者自転車注意 スピード注意 進路変更時後方車両に注意	コース名 時 間 4時間22分
	8月18日(月)	コース名 車線逸脱研修 循環① 時 間 9:07～11:49	指導員 	(指導内容) 車線逸脱に注意 後続車・割込み車に注意 軽車両に注意	コース名 時 間 2時間42分
	8月18日(月)	コース名 大衡線 時 間 13:04～15:15	指導員 	(指導内容) 十分な車間距離 危険予測のを運転早めの減速	コース名 時 間 2時間11分
		コース名 時 間		コース名 時 間	
		座学指導員:指導歴8年			座学教育時間 12時間 00分
		添乗指導員:指導歴8年			実技教育時間 21時間 22分

検 印	社 長	部 長
		

実施年月日	令和7年8月5日(火)
被教育者	
場 所	本社事務所
実 施 者	
営 業 所	本社営業所

教
育
内
容

初 任 運 転 者 指 導	
8月5日受診(初任診断診断)の結果にて面談	
良い点	動作の正確さ、注意の配分、判断・動作のタイミング
注意点	感情の安定性、協調性
良い点について	動作の正確さの中で、すばやく正確に操作が出来ると言う良い結果が出てます。今後ともしっかり確認しながら確実に操作してください。 注意の配分の中で、万遍なく注意を払い、先を見通した操作が出来ると言う良い結果が出てます。油断せず常に周囲の状況の確認を行い、かもしれない運転を行ってください。 判断・動作のタイミングでもきちんと適応でき、処置もしっかり出来ると言う良い結果が出てます。常に危険予知を持ちながら、慎重な運転を行ってください。
注意点について	感情が不安定になりがちだそうです。冷静さを保ってください。心のゆとりが持てるように、ゆったりとした雰囲気作りを行ってください。 他人と協調することが、出来なくなるみたいです。周囲の人や車に譲るくらいの気持ちを持ち、安全運転を行ってください。時には、他人の気持ちになって考えることも必要です。目先の損得にとらわれないようにしてください。 自分の性格や技量を把握し、無理のない運転を心がけて、安全運転に努めてください。 体調管理にも気を付けてください。
小野瀬 雅義氏のコメント	適齢診断の結果の内容をしっかり理解し、今後の安全運転に生かせるように努力します。 周りの乗務員の方とも情報交換しながら、安全運行に努めてまいります。 協調性を高めて、譲り合いの気持ちを持ち、健康管理に気おつけて、毎日の業務に携わります。

検 印	社 長	部 長
		

実施年月日	令和7年8月1日(金)
被教育者	
場 所	本社事務所
実 施 者	
営 業 所	本社営業所

教
育
内
容

初 任 運 転 者 指 導

7月16日健康診断受診の結果にて面談

健康診断の結果、特に異状が見られないと言う良い結果が出てます。引きつずき健康管理には注意してください。会社が変わり、業務内容も変わりますのでストレスなどを溜めないよう、プライベートなどでリフレッシュをし
毎日出勤の際は、体温・血圧などの測定が義務付けられていますので、必ず忘れず測定してください。
周りの乗務員ともコミュニケーション取りながら、健康管理に気を付けて、乗務してください。
体調が悪い場合は、出来る限り前もって申し出てください。無理はしないようにしてください。

貸切バス（初任運転者・準初任運転者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	
実施年月日・時間（必須）	令和7年8月18日	16時00分～17時00分	1時間
実施場所（必須）	事務所	指導講師（必須）	
受講者氏名			

【初任運転者指導項目】 ※ 選任する前に全項目実施する

☐ 座学（①から⑥まで合計10時間以上） ☐ 実技指導（20時間以上）

☐ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）

☐ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

☐ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートの着用徹底等含む）

☐ ④ 危険の予測及び回避（制動装置の急な操作の方法の指導を含む）

☐ ⑤ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車（ASV車両）の適切な運転方法

☒ ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正

☐ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）

【準初任運転者指導項目】 ☐ 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急な操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者に対する実技指導は、運転経験のある貸切バスより大型の車種区分の貸切バスに乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

8月5日から8月18日までの研修を行った中のドライブレコーダー映像を見て、車幅の感覚の慣れかたもよく丁寧な走りもしてます。ギヤのシフトレバーの操作の場合、クラッチに足を乗せすぎないようにし、半クラッチに気を付けてください。狭い道幅を走行する際は、対向車の車両を優先にし、電柱などに接触しないように注意し、走行してください。乗降場所での車両の停止位置は、あまり歩道側に寄せすぎず、スライドドアの接触に注意し、乗降扱いしてください。走行中の車線変更やちょっとした車線を又いての走行は、必ず方向指示器を使い、周りの車両に知らせるようにしてください。交差点内右左折時は歩行者、自転車に十分気おつけて走行してください。発進時には必ずアンダーミラーやバックミラーで前方・後方確認し、車内ミラーにて着座確認し、発進してください。交差点の歩行者信号をしっかりと確認し、早めの減速で停止できるように注意し、急停止にならないように気を付けてください。滑らかなブレーキ操作を行ってください。滑らかなハンドル操作はしっかりと出来てますので、引き続き行ってください。今後とも安全運転第一で乗務してください。

氏より

今回、希望していた大型車両での研修が無事終了しました。研修指導内容を忘れずに、これからも、今まで以上に安全運転に努めます。交通弱者を優先に考え、横断歩道上、交差点内を走行する際は十分に気を付けて、車両事故、車内事故などを起こさないようにします。

1. 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付又は保存すること（3年間保存）

2. 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載し、この書面を台帳に添付する

3. 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う